

岩手県スポーツ推進委員協議会

会報

発行

総務委員会

No. 4

2025. 9. 26

岩手県スポーツ推進委員研修会

令和7年9月20日（土）、九戸郡軽米町にて「令和7年度岩手県スポーツ推進委員研修会」が開催されました。

この研修会は、岩手県内のスポーツ推進委員が一堂に会し、地域スポーツの普及や振興に関する諸事項について研修を行い、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資することを目的として開催されました。

当日は、約220名の参加者・スタッフが集いました。



【かるまい文化交流センター 宇漢米館】



【受付は二戸地区のスタッフの皆様】

会場は令和5年に完成した、軽米町かるまい文化交流センター「宇漢米館（うかめかん）」で開会式、ならびに表彰式が行われ14名の方が岩手県スポーツ推進委員功労賞を受賞されました。



開会のことば【田中裕典実行委員長】



あいさつ【菊池幸子県スポ推会長】



あいさつ【田内慎也県スポ振総括課長】



閉会のことば【佐々木清美県スポ推副会長】

《表彰式》



【功労賞受賞者の皆様】



受賞者代表あいさつ【小原奈帆子氏】 次年度開催地【村里洋子盛岡市スポ推会長】

受賞者の皆様、おめでとうございます！

講演は、『グラスルーツからナショナルまでの育成について』～外国で生活する女性指導者として～と題して、富士大学女子ハンドボール部監督 張 素姫（チャン・ソヒ）氏が、ハンドボール女子韓国代表選手時代、オリンピックでメダルを取るまでの苦労話や、28歳で東京女子体育大学に留学し、文化の違いやことばの不自由さなどの経験を踏まえながらインカレ優勝まで導いた中身の濃いお話をしてくださいました。

その後、ソニーなどの実業団でプレーし現役引退後、岩手に定着し現在では家族の支えを受けながらハンドボールの指導のみならず、国際交流のコーディネーターや実業団のエージェント、また留学生の窓口などまさに日韓の架け橋ともいえるような活動について御紹介をいただきました。



富士大学女子ハンドボール部

U-18 日本代表監督 張 素姫 氏

素晴らしい御講演をいただきありがとうございました！

◎ 実技研修は、3 種目が行われました。

おかりや元気館でモルック、軽米町民体育館でビーチボール、ウォーキングは 2.5 km の A コースと 3.5 km の B コースとともに軽米町内を巡るものでした。

〈モルック〉

軽米町ハートフルスポーツランドで行う予定でしたが雨天のため、おかりや元気館で日本モルック協会公認団体大野☆ドリームの方々が講師となり行われました。



はじめは数コートに分かれて練習をした後、グループ毎にチームを作りリーグ戦を行い勝ち上がったチームはトーナメント戦に挑んでいくというような熱のこもった楽しい研修会でした。



〈ビーチボール〉

軽米町民体育館で軽米町・九戸村ビーチボール協会の方々が講師となり行われました。



〈ウォーキング〉

軽米町内を A コース 2.5 km と B コース 3.5 km で行われ、二戸地区スポーツ推進委員の方々が講師となり行われました。雨天のため、参加者は雨具を使用しながらでした。



【看板の前で記念撮影の参加者】



【司会進行の高村人司氏と古舘陽子氏】

研修日朝方は曇っていた天気も、雨に変わり気持ちが重く感じられましたが、2年前に完成した『かるまい文化交流センター【宇漢米館】』はとても快適な空間で、私たちに良い研修会をアシストしてくれました。

二戸地区スポーツ推進委員の皆様、お疲れさまでした。

ありがとうございました。